

七高SSH通信

R3・3・1
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第13号

自然科学研究 I (第1学年理数科)



「コンデンサー」(2月5日)

1年生の自然科学研究 I で「電気」のユニットでコンデンサーの学習を行いました。はじめにコンデンサーが電荷を蓄える仕組み・用途等を学びました。そのうえで、電気容量を変えることができるコンデンサーを設計・作成し、電気容量が変化する仕組みと工夫点について、エレベーター・トーク(エレベーターが目的の階に到着するまでのごく短い時間の中で、自分の言いたいことを相手にわかりやすく簡潔に伝える会話術のこと。今回は30秒)しました。

このユニットを通して、コンデンサーの電気容量の式の持つ意味を、イメージとしてつかむことができました。



スーパーサイエンス教室

1月24日(日)に、いしかわこども交流センター七尾館で、小学生を対象に「スーパーサイエンス教室」が行われました。『水性マジックの色素分離』と『お絵描きバナナ』の2種類の実験を行いました。『水性マジックの色素分離』の実験では、色によって分離する色素が異なる様子を観察しました。『お絵描きバナナ』の実験では、バナナの表面を爪楊枝で絵を描き、数分後に絵を描いたところが褐色に変化する様子を観察しました。SSCの高校生が小学生を指導し、色の変化していく様子について一緒に楽しみました。



令和2年度 福井県合同課題研究発表会

2月11日(木・祝)、福井県立高志高等学校で「令和2年度福井県合同課題研究発表会」が行われました。この会は福井県の高校を中心に県外の高校なども加わった発表会です。コロナの関係で、発表はリモートで行いましたが、いろいろな発表を聞くことができ、とても参考になりました。

- ・「旗のはたためく領域と旗の横の長さによる領域の変化」
太田義信くん、大森周くん、鹿島健介くん、花島涼太くん
- ・「マイタケプロテアーゼの動物性タンパク質と植物性タンパク質に対する作用の違い」
畝くるみさん、四方帆奈美さん、原田ありささん、渡邊袖月さん
- ・「メイラード反応に影響を与える要因について」
鈴木彩花さん、谷口怜楽くん、二俣淳生くん、松生希海くん
- ・「斜面を流れ落ちる流水中の球の運動について」
酒本瞬太くん、杉谷明音さん、名山幸那さん、林佑羽也くん



数学オリンピック



細谷一心くん：私は数学オリンピックというものがあるというのは知っているぐらいの認識でしたが、数学は好きだし、試しに受けてみようというような感覚で受けてみることにしました。「楽しかった」というのが一番の印象です。今まで解いたことのない考えさせられる難しい問題に触れることができたのはもちろん全国には私と同年代の人が同じ問題を解いているということが楽しさを感じられる一番の要因でした。私にとってとてもいい経験になりました。

1月11日(月・祝)に実施された、第31回日本数学オリンピック(予選)の結果が発表されました。本校からは残念ながら予選通過者はいませんでした。15Hの細谷一心くんが成績上位者に授与される地区表彰に該当し、表彰状をいただきました。

力をつけ、来年また是非挑戦して下さい！